

令和6年度 上半期の教育活動を振り返って

福島県立湖南高等学校長

初秋の候、保護者の皆様におかれましては、益々御清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対しまして、御理解と御協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、本校では、今年度の重点努力目標として、「生徒一人ひとりを真に大切にし、人間性の育成や能力の伸長と、地域から信頼され愛される学校づくり」を掲げ、教職員一同、目標の実現に向けて努力しているところでありますが、これまでの教育活動の検証を行うために、上半期の教育活動を振り返り、全校生徒及び教職員を対象にアンケート調査を実施しました。そのアンケートの調査結果は、以下のとおりですので、御参照ください。

なお、このアンケート調査結果から見えた課題の克服に向け、教職員一同、努力してまいりますので、今後とも御理解と御協力を賜りますようお願いいたします。

【上半期 学校評価アンケート結果】

	※記載されている質問項目の内容については、要約した内容となっています。	生徒(%)			教員(%)		
		肯定的評価(A+B)	昨年度上半期	傾向	肯定的評価(A+B)	昨年度上半期	傾向
重点1	1 学校生活は満足しているか	86.4	91.1	-	100.0	100.0	-
	2 授業は分かりやすいか	84.7	89.3	-	100.0	100.0	-
	3 朝の学習により学力は向上したか	69.5	67.9	-	95.8	84.0	↑
	4 宿題や課題は提出したか	61.0	53.6	↑	83.3	88.0	-
	5 家庭学習に取り組んだか	79.7	69.6	↑	66.7	56.0	↑
	6 読書の習慣がついているか	37.3	48.2	↓	100.0	96.0	-
重点2	7 LHRや総合的な探究の時間には積極的に参加したか	89.8	89.3	-	95.8	96.0	-
	8 進路に関する行事がなされたか	83.1	75.0	↑	100.0	100.0	-
	9 個の特性を生かす進路指導がなされたか	74.6	51.8	↑	100.0	96.0	-
	10 個の希望に応じた進路指導がなされたか	59.3	62.5	-	95.8	96.0	-
	11 生徒は資格取得に取り組んだか	52.5	35.7	↑	100.0	100.0	-
重点3	12 きちんとした服装や髪型ができたか	83.1	67.9	↑	100.0	96.0	-
	13 きちんとした挨拶を行っているか	84.7	67.9	↑	91.7	96.0	-
	14 学校の決まりや社会のルールを守ったか	86.4	82.1	-	100.0	100.0	-
	15 部活動や委員会活動等に熱心に取り組んだか	76.3	82.1	↓	95.8	92.0	-
	16 毎日、清掃活動に取り組んだか	88.1	92.9	-	95.8	96.0	-
重点4	17 『湖南高校だより』など、学校の配布物を渡しているか	66.1	69.6	-			
	『湖南高校だより』など、学校の配布物は学校の状況を伝えているか				100.0	100.0	-
	18 ボランティア等の行事に積極的に参加したか	61.0	80.4	↓			
	ボランティア等の行事は地域に貢献しているか				100.0	96.0	-
	19 湖南に興味・関心を持っているか	78.0	67.9	↑			
	生徒は、湖南に興味・関心を持っているか				91.7	100.0	↓
	20 湖南を理解しているか	86.4	80.4	↑			
	湖南を理解するための機会づくりをしているか				100.0	100.0	-
21	社会貢献の意欲を持ち、社会をより良くするための行動をしようと思う	84.7	76.8	↑			
	信頼される学校作りに努めているか				100.0	100.0	-
22	コミュニティ・スクールとして湖南の特色を生かした学び・学校づくりをしているか	74.6	73.2	-	100.0	100.0	-

※ 『傾向』の欄は、昨年度と比較して、5%以上増減があったものを矢印で表示している。

※令和6年7月実施

【アンケート結果分析】(No.は、質問番号)

- 1 生徒の「学校生活に満足している」との評価は86.4%と、昨年度同期比より4.6ポイント後退している。
- 3 「朝の学習により学力は向上したか」との評価は、生徒も上昇しているが、教員評価において約12ポイント上昇している。
- 4 宿題や課題の提出に関しては、昨年度同期比より生徒評価は7.4ポイント向上している。背景には、教員は粘り強く指導し提出させているという成果であると考えられ、今後も継続的な指導と指定された期日提出の意識付けと定着に努めたい。
- 5 家庭学習への取組に関しては生徒評価は79.7%、教員評価は66.7%であり、意識の差は13ポイントあったが、昨年度同期比よりそれぞれ10ポイント以上の上昇があり改善されつつある。今後も基礎学力の定着を図るためにも、家庭学習に向かわせる指導を継続的に取り組んでいきたい。
- 6 読書の習慣化についての生徒評価は37.3%という結果に依然と低い傾向となった。読解力を身に付けさせることから基礎学力の定着を図るためにも、継続的な声掛けに取り組んでいきたい。
- 7 LHRや総合的な探究の時間等への参加、進路関連行事の取組については、生徒、教員ともに高評価である。
- 8 「進路に関する行事がなされたか」に関して、生徒の昨年度同期比は8.1ポイント向上している。生徒の意識に自身の進路についてしっかりと向き合う姿勢が見られ、今後も意欲的に活動できるよう情報提供と支援に努めていきたい。
- 9 「個の特性を生かす進路指導」に関して、生徒の昨年度同期比は約23ポイント向上しており、今後も定期的な個別面談等を実施し、生徒の特性や発達段階に応じたきめ細やかな指導に努めていきたい。
- 11 「資格取得に取り組んだか」に関して生徒の52.5%と昨年度同期比から約17ポイント上昇している。傾向としては、高校での学びの成果として履歴書等への記載を意識する傾向ができたと考えられ、今後の意識高揚に努めていきたい。
- 12 「きちんとした服装や髪型ができたか」に関して、生徒の83.1%と昨年度同期比から15.4ポイント上昇している。自治の精神により生徒会長の呼びかけによって生徒の規範意識の向上に繋がっている。
- 13 「きちんとした挨拶を行っているか」に関して、生徒の84.7%と昨年度同期比から16.8ポイント上昇している。こちらについても自治の精神により生徒会長の呼びかけによって生徒の規範意識の向上に繋がっている。
- 15 生徒は76.3%と昨年度同期比から8.8ポイント後退しているが、教員の95.8%が部活動や委員会活動等に熱心に取り組んでいると回答している。この違いは、部活動への加入率が低いことが生徒の回答として後退した要因として考えられる。一方で教員は昨年度同期比からは3.8ポイント上昇しており、委員会活動に積極的に取り組んでいることが評価されている。
- 18 生徒は61.0%と昨年度同期比から約20ポイント後退している。しかし、地域の方々との協働的な学びや取り組みとして捉える生徒が多く、ボランティア等の行事への参加という意識が薄いため、今回地域活動以外へのボランティア等についての取り組みとして回答され後退に繋がっている。
- 19 86.4%の生徒から肯定的な回答が得られており、「ぐるっと湖南」を始めとし、地域の皆様の御支援をいただき探究活動が実施できていることが湖南町の伝統文化や郷土料理が継承され、生徒自身も湖南町に興味・関心を抱き、結果に反映されていると考えられる。
- 20 生徒は84.6%と前年同期比6ポイント上昇している。コミュニティ・スクールとしての取組と活動の成果が、総合的な探究の時間における有意義な学びに繋がっており、今後も地域の方々の協力をいただきながら継続的に取り組んでいきたい。
- 21 生徒は84.7%と前年度同期比約8ポイント上昇している。この傾向は、コミュニティ・スクールとして地域の方に支えられ学んでいることに感謝し、地域への社会貢献活動を実践しようとする気持ちを持てるようになってきたと考えられ、今後も継続的な取組を進めていきたい。

【下半期に向けて】

今回のアンケート結果を踏まえ、次のような点を重点事項として取り組んでいくことを考えております。

- (1) 生徒の家庭学習習慣の更なる定着を図るため、基礎的な学力や知識が重要であることを意識させ継続的に宿題や課題を課すとともに、自己管理と自主性を促す。また、探究活動を通じて、家庭を含めた様々な場面で自らの興味関心に沿った学びができるように意識の変革を目指し、家庭学習の定着に努める。
- (2) 自治の精神を育み、社会のルールや規則について考える機会を設け、社会の一員であること自覚させ、行動規範の重要性を考えられるよう自主性を促す。
- (3) 授業や学校行事、地域の方とのふれあい等を通して、地域愛を育み、湖南地区をより理解する授業を実践する。
- (4) 湖南の住民とともに魅力あるコミュニティ・スクールにしていいため、湖南の人的・物的資源を生かした教育活動を実践する。

【あとがき】

令和6年度はコミュニティ・スクール5年目になりました。25名の新入生を迎え、生徒たちは毎日、元気に、充実した学校生活を送っています。

本校では生徒への進学や就職のための課外学習、基礎学力定着を図るための「夕暮!!湖南塾」、そして、コミュニティ・スクールの取組である蕎麦プロジェクトの「そばの種まき」などを実施しています。今後も人間性の育成と能力の伸長を目指し、生徒の自己実現のためにも、様々な校内校外活動に積極的に取り組んでまいります。